【ロジックモデル】

（１）発症予防

番号	個別施策
1	脳卒中の危険因子を減らすための生活習慣改善の取組みを推進する
2	脳卒中の危険因子を発見する健康診査及び指導の実施率を向上させる
	指標　特定健康診査実施率

番号	目標（中間アウトカム）
1	脳卒中の発症が減少している
	指標　脳血管疾患受療率

（２）医療体制

番号	個別施策
1	本人及び家族等が発症後迅速に対処できるように取組みを推進する
2	急性期医療を担う医療機関へ迅速に搬送できる救護体制を推進する
3	脳卒中の急性期医療に対応できる医療機関の体制整備を推進する
4	集中的なリハビリテーションが実施可能な医療機関の体制整備を推進する
5	生活機能の維持・向上のためのサービス支援体制整備を推進する
6	急性期から維持期まで切れ目のない連携を推進する

番号	目標（中間アウトカム）
1	患者ができるだけ早期に救急要請し、専門医療機関へ搬送される
2	発症後速やかにリハビリテーションを受け在宅復帰ができる
	指標　脳卒中から在宅へ復帰した割合
3	在宅での生活維持のための支援を受けることができる
	指標　Ｋ－ＭＩＸ　Ｒで地域連携クリティカルパスを利用している医療機関数

番号	目的（分野アウトカム）
1	脳卒中による死亡が減少している
	指標　脳血管疾患の年齢調整死亡率
2	脳卒中患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができている